

検査部だより

第23号 平成30年3月

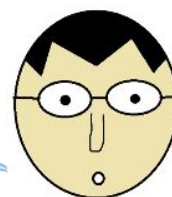
今月は、血液検査についてお話しします。

この検査では、血液の中にある細胞を検査していきます。細胞には赤血球や白血球などがあり、さまざまな働きをしています。

それぞれの細胞について、実際の顕微鏡写真とともに役割などを紹介していきます。

その前に...

単位についての豆知識



赤血球などは結果に“〇〇万個/ μ L (マイクロリットル)”と表記されています。これは”1 μ Lに〇〇万個細胞がある“という意味ですが、皆さんは実際、1 μ Lがどれだけの量なのかご存知でしょうか？実はストローから落ちる水滴の約10分の1位しかありません。そう考えると血液細胞が、どれだけ小さいもので、どれだけたくさんあるのが分かってくると思います。

《赤血球》

赤血球は、約450万個/ μ Lほどある細胞です。血液の中では一番多い細胞で、体に酸素を運ぶ仕事をしています。



《知ってますか？》

赤血球は中央がへこんだ円盤状の形をしています（上の写真の矢印の部分がへこんだ部分です）。この理由を皆さんご存知でしょうか？

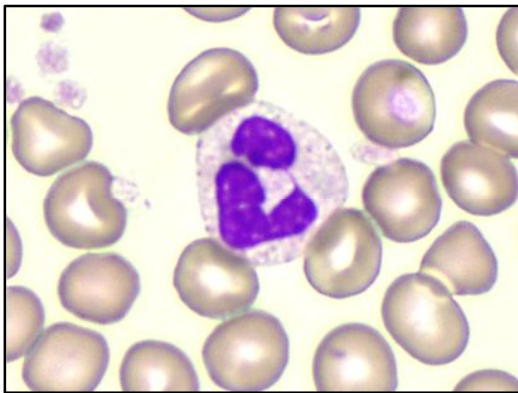
人の血管は場所によって太かったり細かったりします。その血管を自由に通って酸素を運ぶためには、つぶれたり伸びたりしなければならず、このような形をしているのです。

《白血球》

白血球は約 4500 個/ μ L ほどある細胞です。白血球には、好中球、好酸球、好塩基球やリンパ球、単球などの細胞があります。

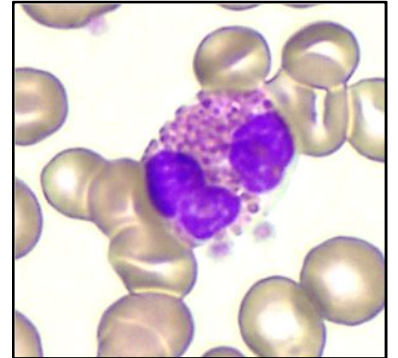
《好中球》

好中球は、細菌などの異物に対していち早く駆けつけ、殺菌・除去する役割があります。



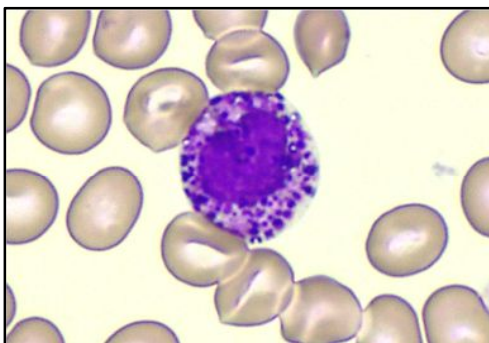
《好酸球》

好酸球にも、好中球と同じような働きはありますが、主な働きは寄生虫に対して働きます。またアレルギーにも関与していて花粉症などにも関係が深い細胞です。



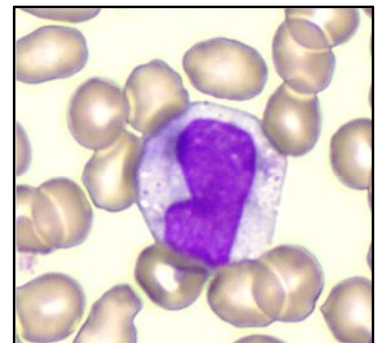
《好塩基球》

好塩基球は、好酸球とほぼ同じ働きをしていてアレルギーに関与しているといわれていますが、詳しいことは分からない部分が多い細胞です。



《単球》

単球も、好中球と同様に殺菌・除去する働きがありますが、好中球よりも強い働きがあります。



《リンパ球》

リンパ球は、異物除去や、他の白血球が異物を処理しやすいように抗体という目印をつくり異物を素早く除去する手助けをします。

